

門別競馬場旧きゅう舎解体撤去等工事

特記仕様書

一般社団法人北海道軽種馬振興公社

総則

1-1. 工事の名称

門別競馬場旧きゅう舎解体撤去等工事

1-2. 発注者

一般社団法人北海道軽種馬振興公社
〒055-0008 沙流郡日高町富川駒丘 76-1（門別競馬場内）
TEL 01456-2-2501
FAX 01456-2-2503
理事長 大鷹千秋

1-3. 工事の場所

北海道沙流郡日高町富川駒丘 76-1

1-4. 工事の目的

当該箇所において、業務施設及び住宅施設の建設予定地にある既存の建築物、工作物及び地中に残置されている基礎等について解体撤去することを目的とする。

1-5. 概要

本工事は、森林法第10条の2項第1項による林地開発行為の許可及び都市計画法第29条第1項の開発行為許可での工事であり、何れも許可済である。

本工事の着手後には、同敷地内で別途敷地造成工事及び建築工事等関連する別途工事が施工される予定である。これらの別途工事施工者と十分に打合せ等を行い、相互に協力し円滑に工事を進捗させること。本工事施工者は、関連する工事施工者間の工事打合せ等に参加し、工事調整に協力すること。

1-6. 工期

令和8年6月30日までとする。解体作業可能時期は令和8年1月からとする。

なお、仮設馬道の工期については、令和8年2月中旬までに完成及び検査を終え、発注者に引渡を行うこと。

2. 適用

2-1. 適用基準（すべて最新版に準拠すること）

「建築物解体工事共通仕様書」
「既存地下工作物の取扱いに関するガイドライン」

さらに、上記共通仕様書及び後述の特記仕様書に記載の無い場合は、関連する要綱、指針、基準等に準拠し、その適用にあたって工事監督員と充分協議し承諾を得て進めること。

3. 特記仕様書

3-1. 工事の範囲

【門別競馬場きゅう舎解体工事】の図面に示す地上部及び地中部の構造物の解体撤去であり、主要な項目について次に示す。ただし、現地状況と異なる場合は、着工時の現況を優先すること。

(1) アスベストに関して

- ・【アスベスト調査報告書】より存在が想定される建築物の解体に当たっては各関連法令に従い撤去すること。また、調査報告書以外で新たに含有を確認した部分については、発注者と別途協議するとともに、工程への影響確認を行う。

(2) 地上にある建築物及び工作物の解体撤去

- ・【門別競馬場きゅう舎解体工事】の図面に記載されている建築物、塀や門扉なども解体撤去すること。
- ・立木などがある場合は発注者と協議を行い、特定行政庁等に確認をした上で伐採、伐根処分を行うことが望ましい。
- ・その他本体工事の支障となる構造物については、発注者と協議すること。

(3) 地中埋設物の解体撤去

- ・【門別競馬場きゅう舎解体工事】の図面に記載されている建築物の基礎や杭、設備配管などを解体撤去し、撤去後は発生土にて埋め戻し荒整地を行うこと。
- ・既存の杭については、本体工事への影響を十分に検討し、解体撤去する範囲を決定すること。
- ・当初想定されない地中埋設施設や地中埋設物等が発見された場合は、移動や撤去等せず、写真などの記録を残し発注者と協議を行い適切な措置を図ること。
- ・地中埋設物を残置する場合は、「既存地下工作物の取扱いに関するガイドライン」等に基づき、残置物の種別、位置等を示した図面等を作成し、発注者に提出すること。

(4) インフラ（電気・上下水道管・ガス等）の撤去及び盛替えに関して

- ・解体建物に接続しているインフラ設備を解体前に撤去し建物解体に支障をきたさないこと。
- ・【門別競馬場きゅう舎解体工事】の図面に記載のある区画内インフラ撤去を行うが、誤ったものを撤去しないように着手前に十分調査し、発注者及び関係各社と事前調整してから施工すること。
- ・【門別競馬場きゅう舎解体工事】の図面に基づき盛替えを行う。図面上不明な箇所がある場合は発注者と協議の上、現地調査を行い、今後の新設建物や他設備等の配置を考慮して施工を行う。盛替え部分に関しては新設工事中及び完成後の耐荷重を考慮する。

(5) 山留めについて

- ・解体撤去その他工事に伴って設置する山留めは原則全て撤去とする。
- ・本体工事の仮設として兼用可能な山留めに関しては発注者及び設計者と協議とする。

(6) 発生廃棄物の処理

- ・適用法令に基づき適正な処理を行うこと。
- ・建設副産物適正処理推進要綱に基づき、積極的に廃棄物の再資源化を行うこと。
- ・電線は有価物扱いとする。

(7) 工事に伴う建設発生土について

- ・建設発生土は、法に定められた基準値を超過する成分を含む土壌とそれ以外を分けて建設予定地内仮置きし、良質土については埋め戻すものとする。

(8) 仮設馬道について

- ・【門別競馬場きゅう舎解体工事】の図面に基づいて施工することとするが、周辺レベルや砂の仕様、仮囲いの高さについては設置前に発注者の最終確認の上、施工すること。
- ・火山灰については苫小牧市植苗産のふるい火山灰を使用すること。最大粒径は10mmとする。なお、上記の条件を満たしたもので、見本品を提出し監督員の承認を得た材料は同等品として使用可能とする。

(9) 施工に関して

- ・開発工事と重複する期間があるため、発注者及び関係各社と協議し、連携・協力して施工すること。

3-2. 完成期限

解体撤去その他工事：令和8年6月30日

3-3. その他

(1) 本工事の施工に関して

- ・発注者及び関係者との打ち合わせに際して主体的に行動し、十分に打合せを行うこと。
- ・競馬場施設としての用途を考慮し前向きな提案を行うこと。
- ・プロジェクトの運営における伝達・記録・保存に際して「情報共有システム RevSIGN」を使用すること。

(2) 取り壊しなどの範囲について

- ・事前に発注者の立会いにより確認を行うこと。

(3) 車両運行路について

- ・要所安全監督員を配置し、常に清掃を行い交通及び近隣住民、競馬関係者、競走馬などへの安全に万全を期すること。工事中の道路の汚損傷箇所は直ちに原型に復旧すること。万一損傷が起きた場合には、発注者に報告し、受注者の負担にて直ちに復旧すること。

(4) 工事に必要な関係諸官庁その他の関係機関への届出等

- ・一切を受注者が行うものとし、その費用は受注者の負担とする。届出等を行う場合は事前に発注者に報告するものとする。

(5) 詳細内訳書の作成について

- ・受注者は、【門別競馬場きゅう舎解体工事】の図面に基づいて解体撤去その他工事の詳細内訳書を作成し、発注者に提出し承諾を得ること。

(6) 施工報告について

- ・受注者は、工事の状況を毎月発注者に定期的に報告し、発注者の要請があったときには随時報告を行うこと。

(7) 解体撤去その他工事の完了時業務

- ・受注者は、残置物の図面、成果物（写真、施工計画書、工事報告書など）について、工事完了後に速やかに発注者に提出し承諾を得ること。

(8) 現場事務所・資材置場・駐車場等について

- ・工事施工にあたり門別競馬場敷地内には、現場事務所・資材置場・駐車場等を設置するスペースがないため、競馬場周辺かつ競馬開催に影響のない場所にスペースを確保すること。なお、工事総合定例の開催場所は公社が準備するものとする。

(9) 工事期間中の安全対策

- ・工区の安全管理を行うこと。
- ・競走馬への配慮を優先し、総合的な安全対策を行うこと。

(10) 工程計画に関する注意事項

- ・工事施工にあたっては、競馬開催の有無にかかわらず1年を通して、競走馬への配慮が必要となります。特に音を伴う工事については、事前に監督員と十分な協議を行い競走馬に影響がないように調整すること。制限については別紙「工事作業制限範囲」および「工事作業制限日・時間（令和7年度実績）」を参照のこと。

(11) 設計変更への対応

- ・設計変更が生じた場合はその都度協議すると共に、本仕様書は設計変更が生じた場合にはその都度、増廃、または追補するものとする